

# 令和元年度の事業概況及び決算について

## I 事業概況

## II 決算

- 1 決算について
- 2 目で見える「収支計算書」と用語解説
- 3 財務諸表

令和2年5月

各位

愛知県信用保証協会

## 令和元年度事業概況及び決算について

日ごろは、本協会の業務運営に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび令和元年度の事業概況及び決算について、次のとおりお知らせします。

### I 事業概況

日本銀行名古屋支店によりますと、東海3県の景気は、緩やかに拡大してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、下押し圧力の強い状態にあります。金融環境をみると、金融機関（国内銀行、信用金庫）の貸出は、前年を上回って推移し、足もとにかけては、運転資金の需要が高まっています。

株式会社東京商工リサーチの「全国企業倒産状況」によりますと、愛知県における企業倒産件数は、平成30年度を下回りました。しかし、令和2年3月については、前年同月を上回りました。

このような環境の下、保証承諾額は、5,454億円（前年度対比128.2%）と前年度実績を上回り、保証債務残高は、1兆1,443億円（前年同期比102.1%）と増加しました。代位弁済額は、148億円（前年度対比91.8%）と前年度実績を下回りました。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、幅広い業界に悪影響を及ぼしつつあります。県内の中小企業・小規模事業者の実情をしっかりと捉えて、適切かつ迅速な支援に努めてまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

（単位 億円、%）

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比
保証承諾額	4,524	100.1	4,256	94.1	5,454	128.2
保証債務残高	11,674	94.3	11,205	96.0	11,443	102.1
代位弁済額	140	76.0	161	114.9	148	91.8

## 新型コロナウイルス感染症に関する各種保証制度の保証承諾実績

(金額 単位：百万円)

	件数	金額
<b>【一般保証】</b>	3,899	72,359
愛知県経済環境適応資金 新型コロナウイルス感染症対策つなぎ資金	3,656	69,595
愛知県経済環境適応資金 経営あんしん 新型コロナウイルス関連	243	2,765
<b>【別枠保証】 セーフティネット保証（経営安定関連保証）</b>	1,501	47,818
愛知県経済環境適応資金 セーフティネット 責任共有対象外	1,174	32,094
愛知県経済環境適応資金 セーフティネット 責任共有対象	105	2,812
<b>【別枠保証】 危機関連保証</b>	104	5,539
愛知県経済環境適応資金 大規模危機対応	79	3,404
総 計	5,504	125,716

※各々の枠の内数は、愛知県融資制度のみを記載しています。

実績値は、次に記載の集計開始日から令和2年3月31日までの値です。

制度名	集計開始日	
新型コロナウイルス感染症対策つなぎ資金	令和2年3月9日	
経営あんしん 新型コロナウイルス関連	令和2年2月18日	
セーフティネット保証	責任共有対象外	令和2年3月2日
	責任共有対象	令和2年3月6日
危機関連保証	令和2年3月13日	

## II 決算

### 1 決算について

#### (1) 経常収入

経常収入は、8億円減少の136億円となりました。

協会の主な収入である保証料は、3億円減少の107億円です。

金融機関から受領した責任共有負担金は3億円減少の15億円です。

#### (2) 経常支出

経常支出は、3億円減少の107億円となりました。

主なものは、協会の運営に必要な業務費が44億円、日本政策金融公庫への信用保険料が2億円減少の63億円です。責任共有負担金納付金の支払いはありません。

#### (3) 経常外収入

経常外収入は、36億円減少の233億円となりました。

前年度繰入額の戻し入れである、責任準備金戻入は3億円減少の68億円、求償権償却準備金戻入が5億円減少の49億円です。

求償権補てん金戻入は113億円で、内訳は金融機関への代位弁済に伴う日本政策金融公庫からの保険金が26億円減少の99億円、損失補償補てん金が1億円減少の15億円です。

#### (4) 経常外支出

経常外支出は、29億円減少の247億円となりました。

求償権償却は、29億円減少の129億円です。

代位弁済に備えて保証債務残高の一定割合を積み立てる責任準備金の繰入額は2億円増加の70億円、また、求償権償却準備金の繰入額は1億円減少の48億円です。

#### (5) 当期収支差額

経常収支差額が28億円、経常外収支差額がマイナス14億円となり、当期収支差額は、合計15億円の剰余となりました。

この当期収支差額の剰余について、100分の50の範囲内で収支差額変動準備金(※)に、残額7億円を基本財産に繰り入れ、更なる対外信用の維持、業務運営の安定化を図ることとしました。

令和元年度末で、収支差額変動準備金の残高は436億円となり、基本財産は1,024億円となりました。

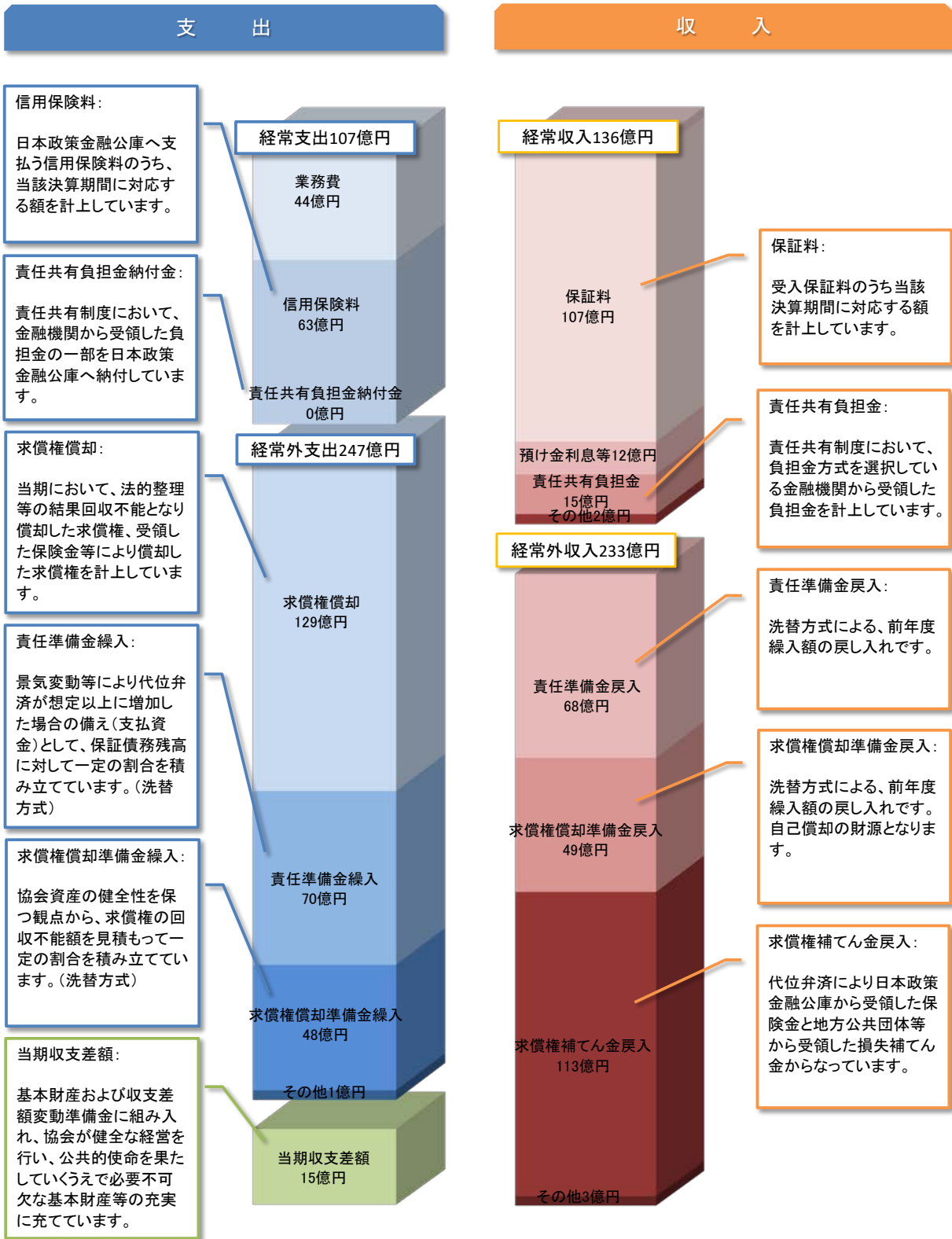
(※) 収支差額に欠損が生じた場合や、保証債務の急速な増加により基本財産の増強が必要になった場合に、これを取り崩して協会経営の安定を図ります。

(注) 金額は、原則として億円単位での概数表示としています。  
また、金額の増減は、前年度対比によるものです。

2 目で見える「収支計算書」と用語解説  
別紙のとおり

3 財務諸表  
別紙のとおり

## 2 目で見る「収支計算書」と用語解説



(注) 数値の単位未満は、四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。

### 3 財務諸表

(1) 収支計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
経常支出		経常収入	
業務費	4,432,712,499	保証料	10,672,022,197
借入金利息	0	預け金利息	10,647,290
信用保険料	6,308,096,842	有価証券利息配当金	1,170,891,596
責任共有負担金納付金	0	延滞保証料	2,871
雑支出	624,214	損害金	69,550,569
		事務補助金	62,083,127
		責任共有負担金	1,459,408,000
		雑収入	107,597,381
経常支出合計	10,741,433,555	経常収入合計	13,552,203,031
経常収支差額	2,810,769,476		
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	12,912,580,137	償却求償権回収金	288,976,469
雑勘定償却	10,339,484	責任準備金戻入	6,785,339,043
退職金	6,594,586	求償権償却準備金戻入	4,944,842,342
責任準備金繰入	6,951,097,472	求償権補てん金戻入	11,328,961,672
求償権償却準備金繰入	4,824,870,045	保険金	9,857,688,115
その他支出	2,653,653	損失補償補てん金	1,471,273,557
		その他収入	0
経常外支出合計	24,708,135,377	経常外収入合計	23,348,119,526
経常外収支差額	▲ 1,360,015,851		
制度改革促進基金取崩額	0		
収支差額変動準備金取崩額	0		
当期収支差額	1,450,753,625		
収支差額変動準備金繰入額	725,376,812		
基本財産繰入額	725,376,813		

## (2) 貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	557,513	基本財産	102,364,104,197
		基金	4,733,949,000
預け金	26,549,211,142	基金準備金	97,630,155,197
		制度改革促進基金	0
有価証券	143,201,975,980	収支差額変動準備金	43,550,352,998
		責任準備金	6,951,097,472
その他有価証券	50,331,528	求償権償却準備金	4,824,870,045
		退職給与引当金	2,825,696,371
動産・不動産	8,921,111,122	損失補償金	70,884,806,075
		保証債務	1,144,298,203,778
損失補償金見返	70,884,806,075	求償権補てん金	0
		借入金	0
保証債務見返	1,144,298,203,778	長期借入金	0
		短期借入金	0
求償権	9,071,010,784	雑勘定	30,604,570,864
		仮受金	41,628,942
譲受債権	0	保険納付金	301,575,695
		損失補償納付金	30,131,561
雑勘定	3,326,493,878	未経過保証料	30,205,918,612
未収利息	140,758,433	未払保険料	10,675,330
未経過保険料	2,947,396,520	未払費用	14,640,724
その他	238,338,925		
合計	1,406,303,701,800	合計	1,406,303,701,800

## 参考

上表は、信用保証協会法施行規則等に基づいて作成していますが、よりご理解いただくため、一般企業における貸借対照表の表示等に置き換えると次のようになります。

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
<b>【資産】</b>		<b>【負債】</b>	
現金・預け金	26,549,769	責任準備金	6,951,097
有価証券	143,201,976	退職給与引当金	2,825,696
その他有価証券	50,332	借入金	0
動産・不動産	8,921,111	雑勘定	30,604,571
求償権	9,071,011	未経過保証料	30,205,919
求償権償却準備金	▲ 4,824,870	その他	398,652
雑勘定	3,326,494	負債合計	40,381,365
未経過保険料	2,947,397		
その他	379,097	<b>【正味財産】</b>	
		基本財産	102,364,104
		基金	4,733,949
		基金準備金	97,630,155
		制度改革促進基金	0
		収支差額変動準備金	43,550,353
		正味財産合計	145,914,457
合計	186,295,822	合計	186,295,822

※次については、備忘勘定で借方・貸方同額のため、上表から除いています。

・保証債務見返(借方)、保証債務(貸方)1,144,298,204千円

・損失補償金見返(借方)、損失補償金(貸方)70,884,806千円

※数値の単位未満は、四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。



## (3)財産目録（令和2年3月31日現在）

（単位：円）

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	557,513	責任準備金	6,951,097,472
預け金	26,549,211,142	求償権償却準備金	4,824,870,045
金銭信託	0	退職給与引当金	2,825,696,371
有価証券	143,201,975,980	損失補償金	70,884,806,075
その他有価証券	50,331,528	保証債務	1,144,298,203,778
動産・不動産	8,921,111,122	求償権補てん金	0
損失補償金見返	70,884,806,075	借入金	0
保証債務見返	1,144,298,203,778	雑勘定	30,604,570,864
求償権	9,071,010,784		
譲受債権	0		
雑勘定	3,326,493,878		
合計	1,406,303,701,800	合計	1,260,389,244,605
		正味財産	145,914,457,195